



《評価指標データ》

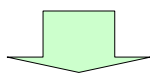
- 博士研究員（PD）の受入状況
- 日本学術振興会特別研究員（DC、PD）の受入人数
- 研究誌発行状況
- 提携大学との研究誌等の交流状況（送付・受入）
- 専任教員の発表論文数【基本的な指標データ】
- 学術賞の受賞状況【大学基礎データ】
- 学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文数
- 21世紀COEプログラムの採択状況
- 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況
- 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況【基本的な基礎データ】
- 特定プロジェクト研究センター制度の活用状況
- 国際学会でのゲストスピーカーの延べ回数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	日本語教育のスタッフの増強、カリキュラムの充実に力を注いだ結果、2011年度の日本語教育の前期課程入学者数は21名と大幅に増加した。
☆小項目4.0.2	カリキュラムの改革は、毎年行っており、社会のニーズに対応したものになっている。
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

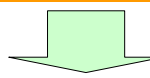
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	2011年度からは、言語文化学プログラムに言語文化学（東アジア）を加え、アジア関連の科目を新たに開講する。
☆小項目4.0.2	日本語教育学プログラムへの入学者が増えており、それに対応するため、2011年度に向けて日本語教育学プログラムに翻訳関係の新設科目を設定し、プログラムの充実に努める予定である。
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	言語教育学の領域を選択する志願者が、以前より若干減少しているため、志願者を増やす工夫が必要である。
☆小項目4.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	カリキュラム委員会の中に言語教育のカリキュラムに関して検討する特別委員会を立ち上げる。
☆小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆その他 (自由記述)	
----------------	--

### Ⅲ. 学内第三者評価

#### ＜評価専門委員会の評価＞

##### 【学外委員】

○カリキュラム改革に積極的に取り組んでいることは評価されます。言語教育学関係の検討のため委員会活動の充実が望まれます。

##### 【学内委員】

○教育研究組織の適切化に向けた取り組みが積極的に行われていることが、各データからも見て取れます。

○社会のニーズに対応するためカリキュラムの改革を毎年行っていることは評価できます。

○本項目は、大学の理念や目的との適合性、学術の進展や社会の要請との適合性、などを考慮した編制原理を持ち、適性であるかどうかを聞いています。その視点から考えると本記述はそれに応えていないように思います。他の項目の内容でしょう。もしこれらの内容が本項目と繋がるのであればそのような記述が必要です。特に、効果が上がっている事項、改善すべき事項はそのように感じます。

○設定されている目標1は、短期的な目標で既に達成しています。中期的な目標をお考えください。また目標2は、目的に近いもので、より具体的な目標を設定されることをお考えください。

##### 【大学基準協会:評価に際し留意すべき事項】

##### ○小項目4.0.1

基盤評価：なし

達成度評価：「教育研究組織が、当該大学、学部・研究科等の理念・目的を実現するためにふさわしいものである」

##### ○小項目4.0.2

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育研究組織の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている。

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

☆

なし